

給排水工事オンライン申請システムの共同導入 ～西三河5市によるデジタル広域連携～

豊田市・岡崎市・安城市・西尾市・知立市

全国初!

広域化×上下水道一体×DX

1. 抱えていた課題

自治体・・・

- ✓業務効率化
担当部署の時間外勤務が常態化
- ✓スペース最適化
書類保管で多大なスペースを使用
- ✓DXコスト抑制
課題解決のためシステム導入が必須



工事業者・・・

- ✓生産性向上
給排水工事を担う業者の多くは
中小企業であり、人手不足が深刻



2. 取組概要

-令和2年10月

豊田市が愛知県内の全自治体に「給排水工事オンライン申請システム」の広域導入を提案。累計44自治体により、導入検討開始

-令和6年3月

岡崎市・安城市・西尾市・知立市と共同導入協定締結

-令和6年5月

5市合同で受託者選定

-令和6年7月

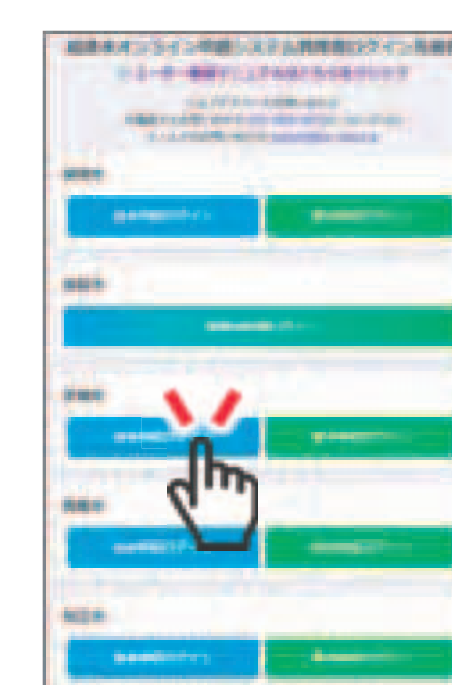
受託者と契約締結

-令和7年4月

同時運用開始



合同プロポーザルの様子



共通トップページ 図面への赤入れ機能

3. 取組の効果

自治体

大幅なコスト削減
初期経費：**35%**
経常経費：**65%**

業務効率の向上
窓口・電話対応の削減
修正指示の効率化

環境負荷の低減
年間最大90tの
CO₂削減

工事業者

**来庁に要する
費用削減**
3,000円/件の削減

**24時間365日
申請可能**
来庁不要で、時間や
場所に縛られない

簡単に使いやすい
統一プラットフォーム
による効率的アクセス

運用開始1年経過後のオンライン申請率：**約80%**
(令和7年度豊田市実績)



工事業者

市役所へ行くことなく、会社や自宅にしながら申請業務を行えるため、大変便利です。また、従来の紙による申請に比べて、許可が下りるまでの時間も短く感じます。

4. PRポイント

ポイント① 課題解決力・実現難易度

- ・広域連携で**業務効率化・コスト削減・利便性向上**を実現
- ・異なる業務プロセス・セキュリティポリシーを調整し、**地域全体のシステムを統一**
- ・戦略的なプロモーション、プロポーザル審査基準の整備、交付金の活用で**財政負担を最大限軽減**

ポイント② 展開性・汎用性

- ・**44自治体のニーズ**を反映した**汎用性の高い**システム設計
- ・**スケールメリット**を活かした調達で、費用面・技術面で有利な提案を享受

ポイント③ 中小規模事業者としての取組

- ・都道府県でも政令指定都市でもない豊田市が中小規模事業者をリードし、**地域のあるべき姿**を追求
- ・**相互支援体制**が築かれ、地域内での協力関係が強化
- ・さらなる効率化とサービス品質向上に向けた基盤を確立